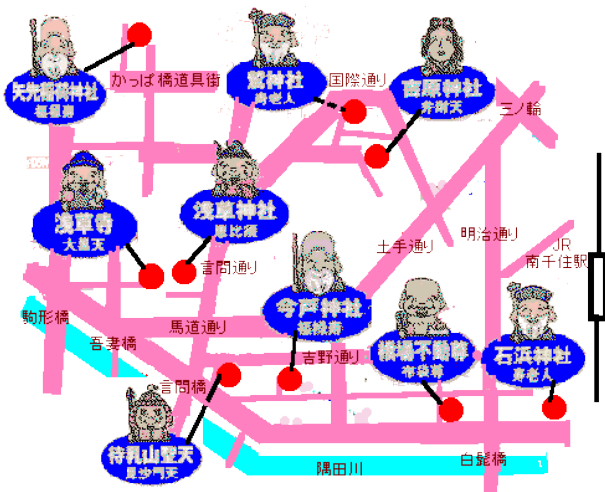


2022年開運 新年浅草七福神めぐり

企画委員会

オミクロン株まで出現したコロナ禍で、のびのびになっていた恒例の浅草七福神巡りをやっと実現できました。前日の都内、10cmの積雪があり、巡りをした正月七日も日陰には名残の雪がありました。巡りの日のお日様は、日差しは力強く冬の透明な空気からの快適、しかしさすがに時折り吹く寒風は冬でした。それぞれの巡りの七福神で、久々の参拝を念入りにしました。想いが届きますように・・・と。

めぐりの七福神の由緒などは旧年の会報に記載しましたので、今回は簡略にしました。



日時：2022年1月7日（金）午後半日
 時間：銀座線浅草駅起点 13時10分～
 東武線浅草駅終点 16時00分
 歩数：9千歩

順路 銀座線浅草駅→雷門→仲見世→
 浅草寺本堂→浅草神社→五重塔→影向堂→
 奥山おまいりまち→木馬館→合羽橋道具街→
 合羽河太郎（金の像）→矢先稲荷神社→
 南めぐりん（台東区循環バス）→おおとり神社→
 吉原弁財天→吉原神社→台東病院→北めぐりん→
 東武線浅草駅

（石浜神社、橋場不動尊、今戸神社、待乳山聖天は次回のお楽しみに残しておきました）

参加者 14名

懇親会 有志 浅草神谷バー
 電気ブラン、ビール、洋食風おつまみと料理、

浅草仲見世

昔チックの人形焼きの香りと定番の浅草土産オンパレードが、郷愁をさそいました。コロナ禍で休業している店があったのが、気になりました。

浅草（せんそう）寺 大黒天



浅草雷門と共にあまりにも有名です。例年通り、初詣の参拝の列が賑やかでした。それにしても、本堂は大きくて立派でした。

浅草（あさくさ）神社 恵比寿



浅草寺の隣にあり、明治の神仏分離によって浅草神社となりました。社殿は、重要文化財です。落ち着いた境内の趣きがありました。

浅草寺 お神輿



三社祭りでの神輿が、社殿右側の建物に飾ってありました。三基とも金ぴかで、飾り物は豪華で、鳳凰が輝いていました。見ただけで、担ぐに重そうな感じでした。

奥山おまいりまち



浅草寺の左側に興行地があり、奥山と呼ばれていました。この門をくぐると木馬館があります。さらに進むと六区です。

合羽橋道具街 金のかっぱ

六区を抜けると合羽橋道具街に出ます。そこに、金ぴかのかっぱ河太郎の像があります。縁起の良い金の像の前で、記念写真を撮り新年を寿ぎました。

矢先（やさき）稲荷神社 福祿寿



矢の的先の守護神としてお稲荷さんを祀ったのが、矢先稲荷神社の名の由来だそうです。創建の頃、通し矢の三十三間堂があったそうで、それを偲びました。

鷲（おおとり）神社 寿老人



年末のおとりさまで、親しまれています。境内に、其角の句碑、一葉の碑がありました。一葉は、ここから近くの竜泉の長屋で『たけくらべ』を著しました。

吉原（よしわら）弁財天 弁財天



関東大震災で、遊女が多く亡くなりました。その供養で吉原観音像が建立されました。ここの池の朱鯉は大きく立派で、その姿を鑑賞しました。

吉原（よしわら）神社 弁財天



開運、縁結び、商売繁昌のご利益のある神として信仰を集め、江戸の小唄集にも登場しています。ひっそりとした雰囲気、静かに手を合わせました。

次回での巡りを予定しているのは、次の通りです。

石浜（いしはま）神社 寿老人

橋場（はしば）不動尊 布袋尊

今戸（いまだ）神社 福祿寿

縁結びで女性に大人気で、願が叶った絵馬がたくさんあります。新選組沖田総司の碑もあります。

待乳山（まちちやま）聖天 毘沙門天

境内の大根と巾着は、聖天様のご利益を表すものです。現世の願いを叶えてくれる仏様です。

浅草寺五重塔 冬のお日様



新春の空は澄みわたっていました。前日の雪が日陰の堂宇の屋根に残り、奥行きのある風情をみせていました。

五重塔の中段から輝きを見せる太陽がまぶしく、光と影の黒白を浮きださせる背景の青い空が印象的でした。

東京スカイツリー



見上げると、スカイツリーが聳えていました。両側のビルの間にはきらきら輝くようでした。

スカイツリーで方角がわかり、ここ浅草では高層建築物で邪魔されることがなく道しるべでした。

台東区循環バス 「めぐりん」 料金百円



1回乗車が百円のミニバスで、南回りと北回りがありました。七福神巡りでの移動距離が長いところで、利用しました。20人ほどで満員の本当にミニです。

懇親会 有志 浅草神谷バー

浅草1丁目1番地1号にある名代の場所です。



電気ブラン、ビール、洋食風おつまみと料理と定番で楽しみました。

お好みを決めて、食券を入り口で購入し、テーブルに座ります。ボーイさんがこの食券の半券をちぎって注文を受けてくれます。テーブルにもってきてくれる手際の良さに感心しました。

名物は、何といたっても電気ブランです。壁には、ビールと一緒に飲む「相思相愛」を薦めるポスターがあり、なるほどと感心しました。みんなでテーブルを囲む楽しみに縁遠くなっていましたので、お料理に加えて、この時間も大いに味わいました。

参加しての感想

(神奈川県横浜市)

お世話になりました。前日の雪で迷いもありましたが、浅草七福神巡りに参加できてよかったです。浅草の知らない面を教えて頂き、ありがとうございます。小説を読んで、興味のあった神社や町にも行くことができました。とても良い体験ができ感謝しております。今年もよろしく願いいたします。

(東京都杉並区)

前日に降った雪は大部分溶けて歩きやすく、足元に気を付けてまどまって散策することができました。雷門の大きな提灯は、ナショナルの松下幸之助氏の寄進によるものです。この提灯は、最も親しまれている浅草のモニュメントです。ここ浅草は編集企画の仕事をしていて、作家の先生や出版社の人をお連れして夜繰り出す馴染みの街でした。しかし、昼歩くのはまた違った別世界を観るおもしろいがありました。

13:10 出発し、浅草駅→雷門→仲見世→浅草寺本堂→浅草神社。浅草寺は、海浜で3寸の観音様を拾った兄弟を祭る神社で、祭りのときは、一の宮、二の宮、三の宮から街に神輿が繰り出されます。五重塔→影向堂→奥山おまいりまち。ここは、昔から浅草寺参詣後に見世物や大道芸を楽しむ街で、大衆劇場や演芸ホールなどの名前が残っているのもうなずけます。木馬館の前も通りました。

河羽橋道具街、ここでは昔、水出しコーヒーの道具が売られていて、この道具でコーヒーを挽いた豆に水を一滴々ボウルに落とし一晩かけてコーヒーを貯める水出しコーヒーをよく作りました。かっぱ河太郎像は、ちょっと気味悪い金色の立像でした。矢先稲荷神社からは、南めぐりんバスでおおとり神社へ。この神社は、酉の市がたつと大賑わいする神社です。→吉原弁財天。赤いのぼりをたてて祭る光景は、少し陰気な気がしました。→吉原神社へ。この神社は吉原の遊郭の中にあつて、遊女の名、遊郭の名が記されています。また、この遊郭は昔、何度も大火事にあつています。浅草は、江戸の遺産を色濃く残す街です。

予定通り浅草駅に戻り、この日の「浅草七福神巡り」を無事に終わりました。このあと、親睦会をかねて軽く一杯で楽しい時間をメンバーと共有しました。